

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	栃木市岩舟家庭教育支援チーム (呼称:家庭教育オピニオンリーダー「かるがも岩舟」)
活動開始年度	平成 20 年度
活動拠点	栃木市立静和小学校
活動範囲	栃木市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (栃木市補助金4万円)
組織体制	<u>12人</u> 子育てサポーター 12人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() ・ハッピー子育て講座 小学校就学時健康診断に合わせて、講座を実施した。 ・栃木市子育て支援センター事業への協力 子育て支援を推進するための市関係機関への協力を行った。 ・親子体験事業の実施 ベビー&ママ ヨガなどを実施し、学びつつ、仲間作りを行った。
活動の成果	参加者からの声として以下のようなことが出された。このようなことから、情報提供や肩の力を抜いた育児の大切さなどを伝えられたと思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに悩む親が多いことにほっとした。 ・講座への参加を通じて仲間を増やすことが出来た。 ・子育ての先輩から「もっと肩の力を抜いていい」とのアドバイスで、気持ちが楽になった。

<p>活動において苦労した点や課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの保護者が集う、小学校の就学時健康診断の際に行う「親学講座」では、教育委員会・小学校との調整に時間を要することがあった。 ・本当に学んでほしい人々に学んでもらうことが課題である。
<p>今後の活動目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問などを含めた相談機会の提供にも取り組んでいきたい。
<p>問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等) 栃木市教育委員会事務局生涯学習部公民館課岩舟公民館係 (TEL) 0282-55-2500 (E-mail) iwafune-k@city.tochigi.lg.jp</p>